

2018年度 報道記事

番号	日付	クリップ	新聞	見出し
1	4月4日		長崎	「学んだこと生かす」 NPT準備委 傍聴するユース代表团
2	4月4日		長崎	ICAN局長ら招請検討 11月の地球市民集会4分科会で議論
3	4月5日	○	朝日	「学んだものNPT会議に」ユース代表团長崎市長を訪問
4	4月5日		西日本	NPT準備委傍聴へ猛勉強 「ナガサキ・ユース代表团」6期生 国連欧州本部で発表会計画
5	4月4日		読売	ユース代表团意気込み 6期生、長崎市長に「精いっぱい活動」
6	4月7日		長崎	日本が抱えるジレンマ
7	4月10日	○	長崎	「瓊子」と平和活動 長崎で調査 長崎大レクナと連携準備も 6～8月にかけ米コーネル大の宮崎教授 家族で滞在
8	4月10日		長崎	北朝鮮、非核化協議の意向 祈る気持ちで成果に期待 県内被爆者ら、冷静な意見も
9	4月11日	○	朝日	RECNA 米でシンポ 研究と政策結ぶ場に 2月北朝鮮の核問題巡り
10	4月15日		毎日	核兵器と原発 日本が書ける「核」のジレンマ 鈴木達治郎著（講談社現代新書・864円）
11	4月22日		長崎	ヒバクシャ「半信半疑」核廃絶へ期待の声も
12	4月22日		長崎	“革新評論” CTBTの即時加盟求めよ
13	4月22日		朝日	非核化今度こそは 被爆者「政府、橋渡しを」
14	4月22日	○	朝日	非核 政府の本気度は NPT再検討 準備委あすから 「分断の世界、橋渡し役に」
15	4月21日		新潟日報	再稼働問題 「先見えなくなった」 霞が関、電力業界 行方注視
16	4月24日	○	長崎	“NPT第2回準備委報告” 核禁条約の評価など注目
17	4月21日		西日本夕刊	北朝鮮「核実験中止」 ICBM実験も 党総会決定 非核化は言及せず
18	4月22日		西日本	北朝鮮 核実験を中止 「ICBM」もと表明 党中央委 核兵器処分言及せず
19	4月27日		新潟日報	県検証「再稼働に重要」 柏崎原発 東電社長、協力の意向
20	4月27日	○	長崎	長大レクナNPT第2回準備委報告 人道的側面の言及少なく
21	4月28日	○	朝日	NPT再検討準備委に8人参加 ナガサキ・ユース ジュネーブで奮闘中
22	4月28日		長崎	核廃絶に向け歓迎 県内反応 具体的に行動、北に求め
23	4月30日		長崎	【お知らせ】 作品募集 長崎原爆忌平和祈念俳句大会 中高生も参加を
24	5月1日	○	長崎	長大レクナNPT第2回準備委報告 溝埋める建設的な議論を
25	5月10日		長崎	核禁条約発効まで2年か ICAN事務局長が見通し 米の核合意離脱 被爆者ら「納得いかない」 半島非核化へ影響懸念
26	5月12日		京都	もんじゅ廃炉 管理に一因 1兆円投入も達成度16% 検査院が指摘
27	5月12日		山口	もんじゅ廃炉 「保守管理不備で」 検査院総括 1兆円で達成16% ずさん管理浮き彫り
28	5月12日		北海道	もんじゅ管理ずさん 検査院指摘 点検体制整備されず
29	5月13日		長崎	米朝会談の結果言及を 長崎平和宣言 起草委が初会合
30	5月14日		長崎	米、原爆の非人道性展示へ マンハッタン計画関連地 国立歴史公園
31	5月19日		長崎	長大レクナなど核専門家会合 北朝鮮へ参加調整 露で31日開会
32	5月22日	○	長崎	核問題会合に北朝鮮参加 長大レクナ、露で開催
33	5月22日		毎日	非核会合に北朝鮮 長崎大主催 昨年は直前辞退
34	5月25日		長崎	北の核施設廃棄 非核化への布石に 被爆者 歓迎も「喜ぶには早い」
35	5月26日		毎日	米朝会談中止 落胆、懸念広がる 専門家や被爆者ら 改めて実現望む声も
36	5月26日		長崎	「残念」被爆者ら落胆 非核化へ対話再開望む声も
37	5月27日		西日本	北東アジア非核化テーマに市民講座
38	5月27日	○	朝日	核抑止論「依存危険」 長崎大研究センター 市民向け講座
39	5月22日		読売	非核化会合に北外交官 参加の意向 長崎大 露で開催
40	5月31日		西日本	一から分かる「非核兵器地帯」 広瀬副・長崎大RECNA副センター長に聞く 条約未批准目立つ米国 北東アジア 真剣な議論なし
41	6月2日		毎日	長崎大主催 非核化会合 北朝鮮参加 モスクワ「一括廃棄」要求批判
42	6月3日	○	長崎	長大レクナ 露で核専門家会合 「板門店宣言」歓迎声明 北朝鮮、オブザーバー参加
43	6月8日	○	長崎	露で開催「核専門家会合」報告 北朝鮮の継続参加に期待
44	6月7日		西日本	NPT準備委に参加 ユース代表团報告会 あす長崎大
45	6月9日		西日本	長崎大研究者も会談注視 非核化「民間の対話も重要」
46	6月9日		毎日	「北東アジア非核化期待高まった」 北朝鮮外交関係者も参加 専門家会合RECNAが報告
47	6月10日	○	長崎	ナガサキ・ユース代表团が活動報告 「国際情勢学ぶこと大事」
48	6月10日		読売	「北の参加意義大きい」 長崎大、非核化会合を報告 「非核地帯の設立」提言も
49	6月12日		朝日	北東アジアの非核化 モスクワの会合報告 長大開催 北朝鮮も参加
50	6月13日		長崎	非核化へ希望と懐疑 「前進」「期待外れ」被爆者ら

2018年度 報道記事

番号	日付	クリップ	新聞	見出し
51	6月13日	○	西日本	梅林宏道・初代長崎大核廃絶研究センター長 北東アジア非核「実現を」 構想20超、被爆地から発信
52	6月13日		西日本	長崎の被爆者「前進」 日本の積極対応求める
53	6月13日		朝日	非核化に期待感 米朝首脳会談で被爆者ら 具体性なく警戒も
54	6月13日		毎日	「403回目の座り込みしたくない」 米朝首脳会議 「核実験に抗議」長崎の被爆者 山川さん
55	6月14日		西日本	世界の核弾頭冷戦後最少に 長崎大が推計公表
56	6月14日		毎日	「核兵器の記憶継承へ架け橋に」 NPT再検討会議準備委参加 「今後の活動につなげる」 ナガサキ・ユース代表团 帰国報告会
57	6月14日		長崎	世界の核弾頭1万4450発 長大レクナ推計 北朝鮮は10～20発
58	6月15日		読売	ユース代表团「対話が必要」 長崎大で活動報告会
59	6月15日	○	朝日	核弾頭 世界に1万4450発 長崎大、ポスター制作・配布
60	6月23日		毎日	世界の核弾頭1万4450発に 長崎大核兵器廃絶研究センターが推計 「脅威減っていない」結果をポスターに
61	7月8日		長崎	長崎平和宣言 核禁不参加の政府批判を 起草委9条堅持言及も要望
62	5月27日		毎日	「ヒバクシャ国際署名」活動2年28万筆集める 長崎市で集会 被爆者ら70名参加
63	5月27日		毎日	市民講座開講 核廃絶目指す「北東アジアの非核化と安全保障」板門店宣言を評価/長崎
64	6月10日		東京	原発ありきのツケ プルトニウム消費先に高速炉「本末転倒」
65	6月19日		読売	世界の核弾頭1万4450発 RECNA推計前年から450発減「性能橋上、質的な軍拡進む」
66	7月17日	○	長崎	長大レクナ・インタビュー 石破氏 核兵器現時点は必要 岡田氏 日本軍縮議論主導を
67	7月11日		公明	原発再考 深刻化するプルトニウム問題
68	7月23日		長崎	被爆講話聞き県内留学生 核廃絶「思い強まった」7割 本誌「原爆・平和」初の一斉アンケート
69	7月23日		長崎	核を見つめる-県内留学生アンケートから〈1〉 実体験者の証言に重み
70	7月23日		中国	広島で国際シンポ ICANメンバーら 核禁条約課題など議論
71	7月25日		長崎	長崎原爆と向き合う②研究者の継承 語り方の変容を追う
72	7月26日		日経	経済教室 プルトニウム管理の論点(上) 新たな国際規範確立の時
73	7月27日	○	長崎	長崎原爆と向き合う③研究者の継承 被爆人々はどう生きた
74	7月29日		長崎	“被爆者全国アンケート” 米朝首脳会談に不満 朝鮮半島非核化に期待も
75	7月30日	○	長崎	長崎原爆と向き合う④研究者の継承 体験継承へ役割果たす
76	7月29日		しんぶん赤旗	歴史的な米朝会談、核兵器禁止条約 核廃絶 現実の政策にNATO諸国でも条約の議論始まる
77	7月29日		朝日	核廃絶ともに歩む道 平和運動「楽しんでいいんだ」 長崎で国際平和シンポ
78	7月30日		東京	エネ基本計画「プルトニウム削減」宣言
79	7月31日		長崎	非核化へ新検証制度を 米朝会談、長大レクナが解説書
80	7月31日	○	朝日	米朝首脳会談、教授ら分析 長大核兵器廃絶研究センター
81	8月1日		しんぶん赤旗	2018焦点・論点 「北東アジア非核地帯」を提案 地域間の信頼醸成が必要
82	8月1日		しんぶん赤旗	2018焦点・論点 朝鮮半島非核化への課題は 困難があっても構想を掲げ対話を続けることが大切
83	8月1日		長崎	原水禁 来月に訪朝団 被爆者調査、非核化で意見交換
84	8月1日		毎日	「ミニ論点」 プルトニウム削減指針 全量再処理転換を
85	8月1日		毎日	日本が保有国動かす
86	8月1日		毎日	感性と理論両論で
87	8月3日		西日本	米朝声明の課題を指摘 長崎大核廃絶研究センター 「まずは互いの信頼醸成を」
88	8月3日		朝日	原爆の歴史世界の記憶に 中国人28歳、日本嫌い超えて
89	8月3日		東京	核燃料サイクル路線変更のとき」 原子力委方針プルトニウム削減明記でシンポ
90	8月3日		毎日	核兵器の教 耳で実感
91	8月3日		毎日	「平和教育はいま 広島・長崎の模索 (上)」14450の恐怖音に込め 大学生授業 小中学生と議論
92	8月5日		公明	てい談 原爆投下73年―― 核兵器廃絶の声ナガサキから
93	8月5日		長崎	「非核の願い国境を超え 被爆者・川野浩一の軌跡〈5〉
94	8月9日		朝日	新たな平和教育挑む22歳 長崎大・光岡さん 核禁条約機に 「体感」工夫・「考える」重視
95	8月9日		長崎	核廃絶運動の継続確認 連合が平和ナガサキ集会
96	8月10日		朝日	核禁止 長崎の声聞いて 国連事務総長「惨害長崎を地球最後に」
97	8月8日		毎日	被爆式典「継続困難」3割 31都道府県運営団体高齢化
98	8月16日		毎日	新たな平和教育模索
99	8月16日		毎日	核廃絶伝えるために 長崎・京都の学生交流
100	8月17日		朝日	平和賞に核廃絶議論 11月の地球市民集会概要決まる

2018年度 報道記事

番号	日付	クリップ	新聞	見出し
101	8月9日		佐賀	「届け平和のメッセージ 高校生大使と佐賀<4>」 演説の力大国も意識
102	8月20日		長崎	「核なき世界」どう進むか オバマ氏元側近 24日、長崎で講演
103	8月23日		朝日	非核地帯構想 北東アジアでも模索を
104	8月23日		毎日	元米大統領補佐官の講演 あす長崎大「核なき世界へどう進むか
105	8月25日	○	長崎	核依存脱却「米は手本に」 長崎大 オバマ氏元側近が講演
106	8月27日		朝日	米全特別補佐官 長崎市長を表敬 核廃絶など意見交換
107	8月27日		長崎	ながさき時評 長崎原爆忌に思う 切り離せない戦争と原爆
108	8月27日		長崎	“インタビュー” 核廃絶各国の自発的意志必要
109	8月28日		読売	米元核政策担当 長崎大で講演会 廃絶の道筋探る
110	8月30日		長崎	長与9条の会「13周年のつどい」
111	8月25日		東奥日報	原子力委プルトニウム削減指針 全量再処理継続に波紋
112	9月13日		西日本	RECN Aの梅林が講演 22日、市民講座
113	9月14日		長崎	核兵器廃絶市民講座 長崎連絡協主催 22日、追悼平和祈念館で
114	7月30日		中国	核兵器禁止条約発効へ 共に歩む 国際シンポ「平和への扉を開く―核兵器禁止条約と、これから」詳細
115	9月20日	○	朝日	南北首脳会談「劇的な前進」長崎大・研究センター長
116	9月22日		朝日	核兵器廃絶 長崎で訴え 「ごまかせない仕組み作れ」がマ政権時の核政策特別補佐官
117	9月23日	○	長崎	長大レクナ・梅林氏講演 北東アジア非核「日本が提唱を」
118	9月23日		西日本	米朝交渉進展に期待感 RECN A・梅林客員教授 核廃絶市民講座で講演
119	9月25日		長崎	『石だたみ』
120	9月29日		長崎	日本降伏の要因はソ連参戦 ロシア史専門家 来月10日、長崎大で講演
121	9月30日	○	長崎	核廃絶 指導者の信念重要
122	10月4日		西日本	「日本降伏決定の要因は」ロシア史専門家が講演 10日、長崎大で特別市民セミナー
123	10月6日		図書新聞	北東アジアの非核化は可能か
124	10月6日		朝日	被爆者の悲劇実感 国連の研修で長崎訪問
125	10月8日		中国	北東アジアに非核兵器地帯を 高まる機運 提言加速
126	10月8日		長崎	ながさき時評 被爆体験の継承―個人のこと＝非政治的？
127	10月11日	○	長崎	原爆投下正当論に反論 米加大名誉教授長谷川氏が講演
128	10月11日		長崎	米臨海前核実験 「核大国のおごり」 県内被爆者らが批判
129	10月11日		読売	ユース代表団7期生募集 15日から、来年4月米派遣
130	10月13日		長崎	「ユース代表団」7期生を募集
131	10月14日		読売	核廃絶条約へ署名33万筆 県民の会 2周年のつどいで報告
132	10月14日		長崎	「目標の折り返し地点」ヒバクシャ国際署名33万1433筆集まる
133	10月15日		長崎	もの申す！長崎新聞-新聞週間に寄せて-① 海外の現場取材もっと
134	10月17日		毎日	「論点 核燃料サイクル政策」 原発減らす前提で見直せ
135	10月19日		長崎	ICAN創設メンバー来崎 核廃絶運動を学ぼう 来月3、4日「反核医師のつどい」
136	10月19日		朝日	ナガサキ・ユース7期生募集 NPT準備委に来年派遣
137	10月20日		朝日	「原爆投下で日本降伏」に反論 歴史学者の長谷川毅氏 長崎大で講演
138	10月22日		長崎	米大統領 核軍縮条約離脱を表明 「ロシアが違反」と非難
139	10月23日		朝日	「あきらめない」の言葉 励みに 下村脩さん死去悼む声 「核兵器ない世界を望む」と講演
140	10月25日		長崎	長崎の証言の会 「2018ナガサキ・ヒロシマの声」発行 改憲の動きに警戒感も
141	10月26日		長崎	『あの人この人』 新たな平和教育模索
142	10月28日		新潟日報	MOX再処理頓挫は明白 拠出金の使途、不明確に
143	10月27日		北海道	核兵器の恐ろしさ語る 長崎の学生、釧路町の2小で
144	11月5日		長崎	長崎で「反核医師のつどい」 核軍縮「日本の影響低下」長大レクナ中村准教授 政府対応に懸念
145	11月9日		長崎	核軍縮で日米意見対立 国連採択巡り 時代遅れと米政権
146	11月9日		長崎	核廃絶への具体策検討 14、15日長崎で「賢人会議」
147	11月10日	○	長崎	「核なき世界展望を」地球市民集会16日開幕 朝長氏会見
148	11月14日		朝日	地球市民集会ナガサキ16日開幕
149	11月15日		朝日	核廃絶へ「実りある議論を」県内で初の賢人会議
150	11月15日		長崎	「賢人会議」長崎で開幕 核廃絶へ解決策模索 案円保障、非人道性で議論

2018年度 報道記事

番号	日付	クリップ	新聞	見出し
151	11月16日		長崎	賢人会議閉幕 「核禁条約に向き合って」 被爆者ら NPT重視の議論進行に
152	11月14日		毎日	核なき世界目指そう 16～18日に地球市民集会
153	11月15日		西日本	「核なき世界」へ知恵絞る 長崎で賢人会議閉幕 若者 継承の輪つながれ
154	11月16日		長崎	核軍縮 具体的進展なし 「最後の被爆地に」認識一致
155	11月17日		西日本	地球市民集会開幕 長崎 核廃絶展示せるか 朝長万左男実行委員長インタビュー
156	11月17日		朝日	非核への機運世界と共に 地球市民集会ナガサキ開幕
157	11月17日		長崎	核禁条約早期発効を 地球市民集会ナガサキ開幕 北の非核化進展期待
158	11月17日		長崎	「核廃絶大きく後退」 被爆者の築城さん政府姿勢にも落胆
159	11月17日		毎日	「核兵器即時全面禁止を」 「地球市民集会ナガサキ」開会集会 軍縮専門家や市民ら400人が参加 被爆者の訴えに耳傾け
160	11月18日		朝日	核問題 興味あっても「活動」2割 長崎の学生団体調査 若者1187人周りの目気にする傾向も
161	11月18日		長崎	地球市民集会ナガサキ 「平和活動」参加経験2割 全国の若者1200人調査 核問題関心8割
162	11月18日	○	長崎	「核兵器亡くすには『仲良く』『大好き』を集めること」 レクナ・広瀬さんら 子どもたちに解説
163	11月18日		毎日	地球市民集会ナガサキ2日目 アンケに高校生ら1187人回答 8割の若者核問題に関心
164	11月19日		長崎	地球市民集会閉幕 長崎アピール採択 政府に核禁署名要求 国内外の信頼回復を
165	11月19日		長崎	地球市民集会 長崎アピール2018 全文
166	11月19日		長崎	世論喚起で核廃絶へ 地球市民集会閉幕 「国会議員へ圧力を」 /世界のつながりが鍵 朝長委員長
167	11月19日		朝日	核情勢「市民レベルで手がかり」 地球市民集会閉幕 核禁条約の早期批准求める
168	11月19日	○	朝日	被爆地の声あげ続ける場に 「地球市民集会ナガサキ」が閉幕 中村桂子・長崎大准教授 「次世代のリーダー育てたい」
169	11月17日		読売	地球市民集会開幕 核廃絶への道を探る 被爆者スピーチや議論
170	11月19日		日経	「核の傘 日本は脱却を」 長崎、地球市民集会が採択
171	11月22日		西日本	ふわっとナガサキ 核廃絶への道筋を議論 地球市民集会ナガサキ分科会詳報（上）
172	11月25日		長崎ととって	はたらく人たち
173	11月27日		毎日	第6回地球市民集会 成果と課題〈上〉 核兵器廃絶へ3600人
174	11月28日		毎日	第6回地球市民集会 成果と課題〈中〉 継承、若者の活動議論
175	11月29日		毎日	第6回地球市民集会 成果と課題〈下〉 RECNA・鈴木センター長に聞く 「長崎アピール」若者の声も
176	11月28日		朝日	核廃絶の道しるべ世界が議論 地球市民集会ナガサキ振り返る
177	12月7日		長崎	ユース代表団7期生発表 核兵器廃絶長崎連絡協 「世界平和貢献したい」
178	12月9日		朝日	真珠湾でインターン 長大3年・永江さん 戦争あった場所で笑える今ありがたい 平和活動楽しんでもいい
179	12月7日		西日本	ナガサキ・ユース代表団決定 9人、来春の米NPT準備委派遣
180	12月9日		毎日	長崎平和リレー ユースの力非核のカギに
181	12月17日	○	朝日	ナガサキ・ユース7期生9人決まる 長大で任命式 NPT会議に来春派遣
182	11月19日		秋田魁新報	学生、活発に意見交換 被爆証言の翻訳活動も
183	11月19日		日本海新聞	平和教育 大学も関与 軍縮会議傍聴や証言発信
184	12月5日		高知	核廃絶 被爆地で追及 長崎大研究センター 「感情と理論 両論必要」
185	12月13日		西日本	ピースカレンダー 核なき世界を考え続け市民講座が来月最終回 長崎市の平和祈念館
186	12月27日		朝日	米の大学生 平和教育体験 長崎の大学生と交流 1万4450発の核弾頭多さを実感
187	1月10日	○	長崎	長大レクナとソウル大平和研究院 協力強化へ覚書更新 朝鮮半島の情勢分析
188	1月14日		長崎	ながさき時評 核兵器への投融資
189	1月18日		朝日	「平和への誓い」人選の審査会 今年1回目
190	1月18日		長崎	「平和への誓い」応募者増へPR強化を 長崎 代表者審査会が初会合
191	1月19日		長崎	地球市民集会ナガサキ実行委 「長崎アピール」を提出 外務省に、核禁条約署名求める
192	1月24日		西日本	RECNAとソウル大平和研究院 学術協力強化を確認 朝鮮半島巡り情報を共有
193	1月24日		長崎	核廃絶！1・27ネバダデー核問題学習会
194	1月25日		長崎	『平成22年（2010年）ながさき回顧』核廃絶への機運高まる 平和祈念式典に英仏初参列
195	1月26日		西日本	世界の『核』考えよう 長崎市で28日学習会
196	1月29日		長崎	「核禁条約価値観変える」 長大レクナ 中村准教授 ネバダデーちなみ講演
197	1月31日		毎日	「ウラン」ネット売買 出品者「海外サイトで購入」 警視庁応酬
198	2月1日		長崎NR	長大レクナとソウル大平和研究院が覚書更新
199	2月2日		長崎	INF破棄通告 「冷戦時代に巻き戻し」 被爆者ら核軍縮停滞に危機感
200	2月3日		朝日	米国のINF離脱宣言 被爆者ら落胆の声

2018年度 報道記事

番号	日付	クリップ	新聞	見出し
201	2月5日	○	長崎	INF破棄「世紀の愚行」
202	2月6日		西日本	米ロのINF廃棄条約破棄見通し 被爆者「軍縮止めるな」長崎大「新たな枠組の好機」
203	2月7日		毎日	「核軍縮交渉の再開を」長崎大レクナ INF全廃条約で見解
204	2月14日		毎日	ヒバクシャ署名拡大へ対談集会 長崎市で16日県民の会開催
205	2月2日		東京	ウラン厳重管理じゃないの？ ネット売買の謎 適法な所有可能 国内で1800個人・団体所持
206	2月16日		長崎	INF条約破棄の衝撃 核リスク異次元へ
207	2月18日		長崎	核兵器のない世界へ 神崎会長(検収強者懇話会)と朝長名誉院長(日赤長崎原爆病院)長崎で対話
208	2月18日		長崎	ながさき時評 広島・長崎と沖縄 「国家テロ」を不可視化
209	2月22日		長崎	朝鮮半島情勢と日韓の行方は あす長崎で講演会
210	2月24日	○	長崎	米朝会談は「大幅な進展の可能性低い」 韓国の陣氏、長崎で講演
211	3月1日		長崎	歴史的階段肩すかし 米朝首脳合意できず トランプ氏強弁も成果なく 「進展なく残念」県内被爆者ら停滞感に落胆
212	3月1日		朝日	非核化「失望と評価半々」 米朝会談「完全な合意 重要」
213	2月21日		西日本	ナガサキ・ユース代表団7期生の意気込み照会
214	3月1日		毎日	ヒバクシャ「予想外の結末」
215	3月8日		長崎	青来さん客員教授に 長大レクナ、来月1日付
216	3月8日		朝日	客員教授に青来さん 来月から長大RECNA
217	3月9日		長崎	センター長に吉田氏 長大レクナ、来月1日付
218	3月9日		西日本	RECNA客員教授 作家青来さん着任へ
219	3月9日		読売	新センター長 吉田氏就任へ RECNA
220	3月11日		長崎	青来さん客員教授
221	3月14日		The Japan Times	Can the Japanese nuclear power industry survive?
222	3月15日		長崎	被爆者なき時代迫る 谷口稜暉さん、土山秀夫さん死去
223	3月21日		朝日	核廃絶へ「長崎アピール」 「完全に支持できぬが目標は共有」 ロシア駐日大使から回答
224	3月19日		朝日	WEB RONZA 震災8年間問われる原子力政策
225	3月23日		西日本	ひと 長崎原爆資料館長を退任する作家 青来有一さん
226	3月27日	○	西日本	核兵器廃絶政策日韓共同提言へ 長崎大研究センター
227	3月27日	○	朝日	核廃絶センター長に吉田氏
228	3月27日		長崎	韓国専門家と連携へ レクナ新センター長 吉田氏が会見
229	3月27日		毎日	青来さん客員教授就任へ 長大レクナ 平和活動など指導
230	3月30日		西日本	『世界の各被災地で起きたこと フレッド・ピアス著』 心の中の「副次的な影響」探る